

初発 DLBCL における Pola-R-CHP 療法後再発難治例に対する治療

1. 研究の対象

当院で 2022 年 10 月 1 日から 2025 年 4 月 30 日にはじめて DLBCL (びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫) と診断され、初回治療として PolaRCHP 療法を導入した 18 歳以上の方。

2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日 ~ 2029 年 3 月 31 日

研究目的: Pola-R-CHP 療法は未治療の DLBCL の PFS を改善し、初発患者の標準治療となりつつあります。しかし、PolaRCHP 療法後の再発後の治療経過についてははっきりしておらず、特に、CAR-T 療法が与える影響は不明な点が多いため、当院で初発 DLBCL に対し Pola-R-CHP 療法を行った例に関し、再発例の特徴とその経過を解析することとしました。

研究方法: 当院で PolaRCHP 療法を導入した未治療 DLBCL 患者において、全体の無病再発生存率および全生存率、再発例の臨床的特徴、再発後の治療の内容とその治療成績、CAR-T 細胞療法の有無と経過、再発後の生存率を後方視的に解析します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、病理結果、使用された薬剤、CAR-T 細胞療法の施行の有無

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 血液内科 研究責任者 新開泰宏

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

-----以上